

# 「福祉車両」で活動の幅をぐ～んと広げませんか



## 「特殊なクルマ」から 「あらゆる人に優しい乗り物」へ

「福祉車両」とは、身体の不自由な方や高齢者などが使いやすいよう、配慮や工夫を施した車のことを指します。近年は、高齢者増加やノーマライゼーション、モータリゼーションの進展など、さまざまな側面から福祉車両のニーズが高まり、自動車メーカーも高性能な福祉車両の開発に力を入れるようになりました。しかも多種多様な車種のほとんどが福祉車両に対応し、車体価格が一般車とあまり変わらないものも出てきたことから、標準車を購入する際のグレードアップとして考える人も増えているようです。

今や福祉車両は「特殊なクルマ」ではなく、あらゆる人に優しい乗り物として、人々が車を選ぶ選択肢のひとつとなりつつあるといえます。ただし、やはり車は高額で買い換えが難しいもの。将来をしっかりと見据えた車選びが必要です。



## 福祉車両の仕様は 体の動く程度や家族の将来も考慮

手足にハンディキャップを持つ本人が運転する運転補助装置付きの車を除いて、福祉車両には大きく4つのタイプがあります。

### ●助手席回転スライドシート車

助手席シートが回転し、車外へスライド。比較的体が動く人向きです。

### ●助手席リフトアップシート車

助手席シートが回転し、車外へスライドダウン。1～2歩なら立って歩ける人に向いています。

### ●サイドリフトアップシート車

セカンドシートが回転して車外へ大きくスライドダウン。シートがそのまま車いすになるタイプもあります。

### ●車いす仕様車

車いすに乗ったまま乗降が可能。

福祉車両は、体が動く程度や今後の回復の見込み、リハビリ目的かどうか、また本人や介護する家族の年齢なども考慮して選びましょう。

## 助手席回転スライドシート車



助手席シートが外側に回転・スライドし、乗降がスムーズ。ただし、シートに深く着座できない人、歩行困難な人などは不向き。また、車いす収納装置がないと消費税が必要

## 助手席リフトアップシート車



助手席シートが回転し、さらに車外へスライドダウン。低い位置まで降りてくるので車いすからの乗降が楽。ただし、シートに深く着座できない人などは不向き

## サイドリフトアップシート車



主にボックス車などのセカンドシートが外側に回転し、車外へスライドダウン。シートがそのまま車いすになるタイプもあり。長距離にも向いている

## 車いす仕様車



車いすに乗ったまま乗降可。リフト、スロープのほか、巻き上げ装置付きもあり、介護者も楽な仕様になっている。ただし、長距離には不向き

## 電動カー



免許不要。充電式。メーカーにもよるが、1回の充電(約6時間)で20km前後の走行が可能。車体にコンセントがあり、外出先での充電も可。ただし、シートに深く着座できない人、歩行困難な人には不向き

## フレンドマチック取付用専用車



操作力を大幅に軽減した専用パワステや、車いすの出し入れに便利な助手席前倒し機構&操作ストラップを標準装備。そのほか、運転者をサポートする各種装備の取付も可能

## 豊富なバリエーションと 幅広い価格設定から最適車を選ぶ

現在は、大手自動車メーカーから続々と高性能な福祉車両が開発・販売されています。今回取材した「トヨタカローラ愛媛」でも、「ウェルキャブシリーズ」と名付けられた福祉車両の販売を行っていて、前述の4タイプの車両は、豊富なバリエーションと幅広い価格設定の中から選ぶことができます。

「ウェルキャブシリーズ」にはこのほか、運転者をサポートする専用パワステなどを標準装備、しかも乗り降りや運転操作をスムーズにする数々の補助装備が取り付け可能な「フレンドマチック取付用専用車」や、運転免許不要でちょっとした買物やお出かけに便利な「電動カー」もラインナップ。さらには、今ある車を福祉車両に改造するサービスも行なうなど、一人ひとりの要望や使い方に合った仕様車にすることも可能です。

なお、車を選ぶ際には、利用頻度や同乗人数の考慮はもちろん、必ず本人や介護者が試乗や乗降を十分体験して、乗り心地や使い勝手を細かくチェックしましょう。

健常者にはわかりにくい、個々の体が動く度合いを踏まえた、「その人に合う車選び・車づくり」が何より重要です。

## 税金の免除・優遇措置を有効に活用しよう

福祉車両には、5%の「税金免除」や、障害者手帳の級数によって自動車税や所得税の「税金優遇」措置があります。

ただし、すべての車種に免除や優遇が適用されるわけではありません。例えば「助手席回転スライドシート車」は優遇適用外ですが、この車種のタイプB(車いす収納装置付き)を選ぶと適用車となります。この場合、一般車との差額は約7万円～。「サイドリフトアップシート車」、「助手席リフトアップシート車」では50万円前後の差です。税金を払うより、取り付けの方がお得な場合もあるので、購入の際には販売店に相談してみてください。

■取材協力・資料提供/  
トヨタカローラ愛媛

